

第81号

2022年8月
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX 022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : muginokai@k5.dion.ne.jp <https://www.muginokai-koppe.com>

目次 食べ始めたら止まらない！オリーブオートミールクッキー

共同連東北ブロック交流会& 共同連マラソントーク報告	皆川 万葉 … 1p
神さまからのおくりもの 漢字のかみさま⑥	飯嶋 茂 … 3p
視	久保 純子 … 5p
察	日下 由美 … 6p
報告	神品 暖子 … 8p
努力	鎌田 啓夢 … 9p
改修工事進行中	関 陽向 … 10p
	落合 佑太 … 11p
	阿部 央希 … 12p
	飯嶋 茂 … 12p

食べ始めたら止まらない！オリーブオートミールクッキー

パレスチナ・オリーブ 皆川万葉

パレスチナ・オリーブは 20 年ほど前からパレスチナ地域のオリーブオイルやオリーブ石けんをフェアトレードで輸入、全国で販売しています。

私は、1995 年大学生の時にスタディ・ツアーでパレスチナを訪問し、パレスチナの暮らしを知りたい、かかわりたいと思うようになりました。1997 年末にオリーブオイルのプロジェクトを知り、最初は市民活動団体として、のちに独立してオリーブオイルの輸入を始めました。

2001 年からコッペさんが、このオリーブオイルを使って「オリーブオートミールクッキー」を作ってくれています。サクサクした軽い味わいが人気で、パレスチナ・オリーブのお客様にもファンが多いです。

でも、パレスチナ・オリーブは震災・原発事故後にいったん山梨県甲府市に拠点を移したので、パレスチナ・オリーブからのクッキーの販売はやめていました。このかん、ファンの人が直接コッペに注文したこともありました。3月に仙台に

戻ってきたので、クッキーの取り扱いを再開しました。

「待っていました！」と、再開したとたん20袋注文してくれた札幌のお店がありました。試してみたい、と数袋注文してくれた新しいお客さんもいます。私がお土産に持っていったら、一人で一袋あつという間に食べてしまったという人も。「食べ始めたら止まらない」オリーブオートミールクッキーです。

このほかに、パレスチナのハーブミックス、ザアタルを使った「ザアタルスティック」もあります。甘さ控えめのコンコンブルです。

2002年に「ガリラヤのシンディアナ」のスタッフが来日したときに、コッペも訪問しました。コッペの皆さんには「アッサラームアレイコム」（アラビア語で「こんにちは」の意味）と暖かく迎えていただきました。

コッペとは、思いや理念とともに、「美味しいものを売る、ビジネスとして継続的に成り立たせていく」という面でも、パレスチナ・オリーブの仕事と共通性を感じています。長い経験のあるコッペさんに学ばせていただくこともあれこれで、ソーシャルビジネスの心強い先輩です。

生産者団体さんも、「高品質なオリーブを育てるパレスチナ農家さんの応援、オリーブオイルのボトル詰などでパレスチナの女性たちに仕事をもたらす、平等に共存できる社会を目指す」という理念と同時に、美味しいオリーブオイルを作って売る、ということに誇りを持っています。パレスチナの厳しい状況の中でも、いいモノを作って売っている人たちは元気なのです。

パレスチナ・中東は遠いところの話と思われがちですが、オリーブオイルやクッキーを通じて身近に感じていただいたら嬉しいです。

クッキーをまだ食べことのない方は、まずはぜひ、召し上がってみてください！

（補足）

パレスチナ地域は、青い海（地中海）、青い空、緑のオリーブ林が美しいところです。長くオスマン帝国領でしたが、約100年前にイギリスの委任統治領（植民地）になりました。その後、イスラエルが建国されてから約75年。ヨルダン川西岸地区・ガザ地区が軍事占領されて55年。パレスチナの人たちは住居や土地から追い出され、分離壁やイスラエル軍の検問所で人とモノの移動が制限されています。自由がないというだけでなく、経済的にも大打撃を受けているのです。

オリーブオイルを生産しているのは、イスラエル建国後もその地に留まったパレスチナの人たちです。「ユダヤ人」が中心の国家・社会で、不平等があります。

パレスチナ自治区は長年のイスラエルの占領で追い詰められている一方、パレスチナ自治政府の腐敗・人権侵害も問題です。

*パレスチナ・オリーブさんのオリーブ油はコッペでも購入できます。

第6回共同連東北ブロック交流会&共同連マラソントーク報告

飯嶋

6月25日(土)、第6回共同連東北ブロック交流会&共同連マラソントークを仙台市において開催しました。コロナが流行してから、久しぶりの「リアル」なシンポジウムでした。参加者約50名。会場の定員60人、「密」になりすぎたらどうしようと思っていましたが、ギリギリセーフ。まずは実際に会って対話することの良さを、参加されたみなさんと共有できたことが何よりでした。夜の交流会も広い会場に30名ほどの参加。お店は、ほぼ貸し切り状態にしてくれたので安心して楽しんでいただけだと思います。

さて、内容です。今回のテーマと呼びかけ文です。

【共に生き、共に働く】 ～多様な形態、多様な場所から～

共に生き、働く、使われすぎた言葉かもしれません。しかし、これがわたしたちの活動の原点です。制度としていかに支えるのか、事業としていかに成り立たせるのか、関係をいかに作っていくのか。悩みは尽きません。共同連の経験、宮城・岩手・東京からの実践報告。そして、10月に法律が施行される労働者協同組合とは。それらを通して今後の展望を語り合いたいと思います。

発言者・コーディネーターは以下の皆さん。

*共同連あいさつ NPO法人共同連 代表 齋藤 縣三さん

*シンポジウム

コーディネーター 白杉 滋朗さん(企業組合ねっこの輪・滋賀県大津市)

シンポジスト

佐々木 洋志さん(ワーカーズコープ南東北事業本部長)

大久保 千絵美さん(ワーカーズコープ亙理事業所・ともに はま道)

木村 直隆さん(一般社団法人石巻グリーンサポート代表理事・

パーラー山と田んぼ)(石巻市)

石頭 悦さん(株式会社 幸呼来(さっくら) JAPAN 代表取締役)(盛岡市)

岩間 有希さん(あしたや共働企画・東京都多摩市)

冒頭にあいさつを予定していた共同連代表の齋藤縣三さんが、東海道新幹線の遅れで開始時間に間に合わないというハプニングもありましたが、その程度は想定内のトラブルとして、さっそくシンポジウムに入りました。

まず佐々木さんから労働者協同組合法施行に向け、全体の説明をしていただきました。会場には「労働者協同組合の事を初めて聞く」という方も多く、「歴史」から「現状」「課題」とわかりやすくお話しいただきました。最新の情報として6月13日に労働者協同組合法の一部改正があり、認定を受けた労働者協同組合に対する税制上の優遇措置が認めれたことも伝えていただきました。

大久保さんからは、東日本大震災のあと、緊急雇用創出事業を使い、事業所を開設したこと。緊急雇用創出事業が打ち切りになった後も、一緒に働いていた障害のある方と共に働くために、就労継続支援B型「ともに はま道」として活動していることが報告されました。

個人的には、労働者協同組合の「意見反映」の原理がどのように担保されてい

るのが聞きたい部分でした。コッペもできた当初は、「運営会議」の名のもと結構厳しい議論もしていましたが、最近は議論も参加する人も少ないのが現状です。

佐々木さんから意見反映につき定款に明記する必要あり、総会でも報告する義務があること、大久保さんからは現場での実践のお話し。コッペももう少し何とかしなければと反省しました。一方、労働者協同組合法の例外規定、就労継続支援の利用者は、組合員にはなれるが、当分の間、組合員構成の3/4の要件に入らないというのは、経済的な問題に配慮した結果と思いますが、逆に差別にもなるのではないかという感もあり、気になる点です。

木村さんの「パーラー山と田んぼ」は石巻市でも内陸にあります。周りが山と田んぼしかないのにつけた名前とのこと。でも「田舎」のおしゃれカフェは来店客が絶えません。最近は生協にテナントも出店しています。しっかりしたものを作って平均工賃も3万円台と結果を残しています。

石頭（いしがしら）さんの幸呼来（さっくら）JAPANは、さき織の伝統技法でアップサイクルと製品のブランド化を実現しています。実はコロナがはやらなければ、岩手で共同連東北ブロック交流会を開催予定でした。準備もしていただいていたのに実現できず、今回は発言者として来ていただきました。石頭さんも労働者協同組合のことは初めて知ったとのこと。

あしたや共働企画は、東京の多摩ニュータウンで自然食のお店と古本・手作り雑貨のお店を運営しています。今回来ていただいた岩間さんは、実は宮城県亶理町の出身。あしたやの皆で考えていくという姿勢には相変わらず頭が下がります。木村さんもこういう考え方もあるのかと感想を述べていました。

久しぶりのイベントで発言者を5人呼んでしまって、顔合わせだけで議論の時間が取れないかなと思っていましたが、コーディネーターの白杉さんが、労働者性とは何かを軸にやり取りを進めてもらって、有意義な時間となったと思います。次回は、会場からの意見を聞くのも忘れずに(?)お願いします。

今回全体の司会は、松本くんにお願いしました。声の大きさは、コロナに関係なく健在です。



8/1 ともにはま道さんに、おじゃましました。



お弁当ごちそうさまでした

「共同連東北ブロック交流会&共同連マラソントーク」参加報告

久保 純子

「ともにたたく」共同連が生まれた経緯を知ることができました。福祉業界の時代の流れ、特に給付費制度になってから、支援する人、される人に分断され、一緒に稼いだ収入を平等に分けることが難しくなったというお話がありました。

職員には、給付費から給料が支払われ、利用者には収益活動の利益が工賃として支払われる。一緒に働いているのに大きな金額の差があり、給付費を利用者の工賃に充てることは禁止されているので心が痛む…。

コッペで考えると…みんな「パンとクッキーを作って売る共に働く仲間」です。でも、よく見ると1人1人の働き方には違いがあります。それぞれが得意なところを担当します。それぞれが働ける時間に精一杯働きます。

職員は決められた時間や、一定の作業量が求められます。職員も、得意不得意があってお互いにフォローしながら仕事が進むように、メンバーがより働きやすいように気をつけます。

売り上げを均等に分けることが「ともにたたく」とは言えないのではないかと思いました。

メンバーも、職員も、自分の秤で「作業」と「手にしたい給料」のバランスがとれていることが大切だと思います。「正確な秤」を自分の中に持つことと、その事業所の「正確な秤」が必要になるでしょう。

もっと工賃を手にしたならどうすればいいか？メンバーの希望を一緒に考えていくことだと思います。

障がいがあってもなくても、人生の目標は「幸せな大人になる」ことだと思います。(早稲田大学 梅永教授の講義で話されていた言葉です)

自分で仕事を選び、仕事を頑張り、余暇を楽しむ。

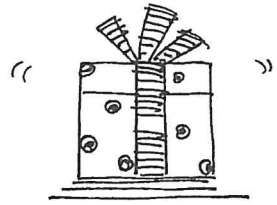
福祉サービス事業所でなくても、障がいがある働く人には「合理的配慮」を行うことになっています。苦手なところをわかりやすくする掲示、時間配分、「こうしたら働ける」という工夫がなされます。

私は、みんなが自分を生かして、仲間を思いやって「今日も頑張ったなー」「役に立ってるぞ」「明日も来たいな」と思えるコッペである事を願います。

共に働いて1年が過ぎた私も、失敗を繰り返し、皆様に助けられながら「今日も終わったー」を繰り返しています。

メンバーも職員も、みんなで幸せな大人になりましょう!!!

神さま からの おくいもの



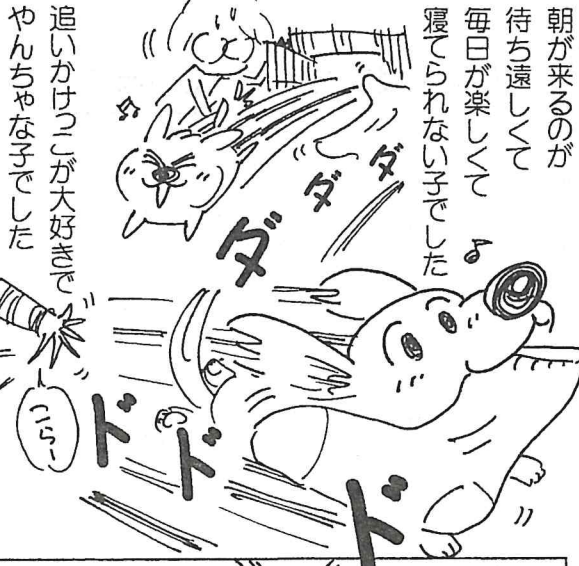
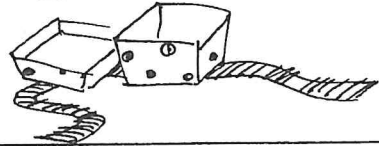
くさか ゆみ
2022.6.15

『JONASE
褒めて貰ったよ』
そう決めました

毎日の散歩しちゃう
なびーのびーのびーのびー
旅行しちゃう

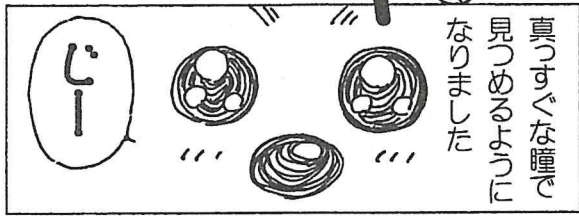


すっぴ
すっぴ
一緒だね



朝が来るのが
待ち遠しくて
毎日が楽しくて
寝てられないでました

追いかけてくのが大好きで
やんちゃな子でした



真つすべな瞳で
見つめるように
なりました



穴が開きそう
でした

何もかも
お見通し
でした



お願い事が
苦手でした。

ほめられるのは
大好きでした



おいっね

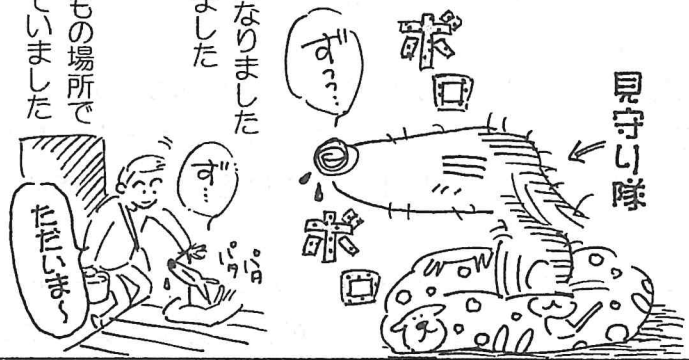
オキへなつたア
ツバツバ木で
入っね

僕はここにいますよ
いつも一緒だよ

見守ることが
お仕事でした

見守り隊

19歳になりました
病気になるりました
鼻が詰まって
鼻呼吸が出来なくなりました
鼻血がいつぱい出ました
それでも
夕方になるといつもの場所で
家族の帰りを待っていました



最後の日になりました
息を引き取る間際
大きな声で鳴いて
旅立ちました



小さな体でよく頑張ったね
やっと解放されたね
そう思いました
お骨を
焼きました
受け取った時
あまりの軽さに
泣いてしまいました
本当に死んじゃったんだ
一度と会えないんだ
と思いました



神様
うちの子
元気でやっていますか



お友達できましたか
ワンワン大学入れよう
でしょっか

沢山の約束をして
沢山のウソをつきました
それでも許してくれました



無償の
愛を
くれました



今月の暖子さん

仕事・漢字を頑張っています。

盛者必衰 孟子三遷 朝三暮四 極樂往生 因果報 深謀遠慮 諸行無常 觀善懲惡 名所旧跡 風光明媚 岡目八目 惡事千里 八十八夜 菜種梅雨 津津浦浦

盛者必衰 孟子三遷 朝三暮四 極樂往生 因果報 深謀遠慮 諸行無常 勸善懲惡 名所旧跡 風光明媚 岡目八目 惡事千里 八十八夜 菜種梅雨 津津浦浦

盛者必衰 孟子三遷 朝三暮四 極樂往生 因果報 深謀遠慮 諸行無常 勸善懲惡 名所旧跡 風光明媚 岡目八目 惡事千里 八十八夜 菜種梅雨 津津浦浦

盛者必衰 孟子三遷 朝三暮四 極樂往生 因果報 深謀遠慮 諸行無常 勸善懲惡 名所旧跡 風光明媚 岡目八目 惡事千里 八十八夜 菜種梅雨 津津浦浦

視

きのうワタリスに行ってきました。8月18日曜日に無理インターバスを入りました。視察見学をコッパのみんなで行きました。ワタリスさんで喫茶店に行きました。お話し聞きながらアイスコーヒーを飲みました。ハチミツは美味しかったです。お家でお土産を買いました。ワタリスさんの火田を見ました。ミツバチがいっぱい飛んでいました。ワタリスさんの次は、ともにはま道さんでお昼は牛丼を食べました。しその葉っぱを見学をしました。次はホウリスさんに行きました。名誌を渡しました。ヨーピーを買いました。ちくちくさんに行きました。福島県の相馬市にあります。新すきやさおり織りをしていました。きれいなき緑の手ぬぐいをもらいました。浜の駅松川浦と夢いちごの里に寄りました。ソフトクリームでいちごを食べました。夏が暑かったです。お天気が良いです。また行きたいです。

鎌田啓夢

*名刺です



はちみつの試食



せんこくんパネル

事業戸介ネ見察にて

朝月8:30にコッペ出発して、WATALIS(亶理町)ポラリス(山元町)ともにはまみち(亶理町)もくもく(相馬市)の事業戸介ネ見察に菅里予さん、スイ呆さん、金兼田さん、落合さんと食反山鳥さんの運転で行ってきました!

まずネ初めに見学した戸介は「WATALIS」に行きました。WATALISは、東日本大震災後の後に立ち上げました。

貝反売は、コッペで造った「あたりのいちご」スキーを仙台でイベントがある時は貝反売しています。はちみつを言式食しました。あまくて、とてもおいしかったです。次は…山元町にある、「ポラリス」に行ってきました。建物の隣りには、屋台用の引き車の完成したものが置いてあってとてもキレイでした。次…「ともにはまみち」の見学に行きました。ひかり弁当も作って貝反売しています。昼食は弁当は半500だったので牛肉弁当を貝購入して食べましたか、肉はとてもやわらかくてとてもおいしかったです!

最後には福島県の相馬市「もくもく」の事業戸介に行きました。仕事内容は「糸氏すき」「シルク印刷」「織り」の内容でどの作業も丁寧に商品を作っていました。その後「浜の馬尺松公川浦」に行きました。福島県相馬市に来たのはネ初めでで己々たな

発見が出来てよかったです。今度は家方矢
と一者に行きたいと思っています。

関陽向



きのうはワタリスに行きました。大事なお話し
をききました。アイスコーヒーをのみました。
おみやげを買いました。火田を見に行きま
した。みつばちのお仕事を見ました。はちみつ
を味みしました。おいしかったです。はみちさんで
お昼はナポリタンセットを食べました。しそはをる
お仕事をしてました。ホヲリスさんに行きました。
屋台を見ました。絵を見ました。もくもくに行き
ました。グレープジュースをのみました。

落合 佑太



350円

人生

尚部次希

本当に大事な事があります。基本

は考えているのはしっかりと

努力あれは自分の中はこれからも

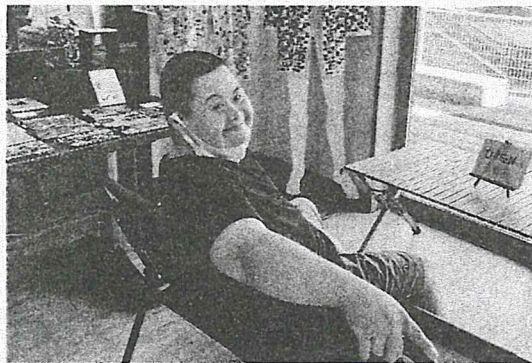
もっと自分も良く考えて命かけてもっと

大人になっても優しくします。基本的には

自分が大事なとついても考えてもっと

ずっと家族で命を支えて欲しいの

です。一番は努力とう一字です。



8月2日多夢多夢舎にて

改修工事進行中

代表理事 飯嶋 茂

前号で改修工事のお知らせとご寄付のお願いをしました。ご寄付を頂いた皆様、ありがとうございます。

今号の編集中の8月4日現在、改修工事の真ただ中です。お盆明けには工事も終了し、広くなった作業場で製造を再開する予定です。

改修工事を過程で消防法の関係で2Fに避難器具を設置しなければならないなど、追加の費用も発生しています。

引き続きご支援いただければ幸いです。